

私たちの街、北九州市で初開催！ ぜひ、ご参加ください！

「みちづくしin北九州2020」



開催日 令和2年11月17日(火)・18日(水)

会場 AIMビル 3階

「みちづくし」は九州各地で活動をしている道守の皆様が一堂に集い、全体交流や意見交換を通して自分たちの活動を発展させるために、年1回開催されているものです。昨年度の佐世保では、パブリックミーティングや懇親会、現地体験学習など様々な企画が行われ、大いに盛り上がりを見せました。今年の開催地は、なんと北九州市です。九州中から多くの方々が集まるイベントとなりますので、ぜひ皆様にも参加していただき、一丸となって盛り上げていければと思います。



令和2・3年度 幹事及び副幹事

門司区	幹事	副幹事
門司区	NPO法人門司港レトロ花の会 北里 幸良さん	黄金町ビューティフル・クラブ 中井 黄美男さん
小倉北区	木町本町町内会 木谷 直記さん	馬六フラワー会 児玉 國廣さん
小倉南区	長尾校区まちづくり協議会 吉本 保さん	北九州の玄関クリーンアップ協議会 スマイルタウン小倉支部 則松 富子さん
若松区	若松1区青々会 渡辺 清子さん	深町桜会 花村 嘉男さん
八幡東区	枝光北まちづくり協議会 芳賀 文明さん	山路松尾町年長者の会 大平 京子さん
八幡西区	有限会社 本城葬祭 福田 学さん	井樋口町内会 鈴嶋 幸雄さん
戸畑区	さやふく環境サポーター 佐々木 憲一郎さん	私たちの未来環境プロジェクト 池本 真一さん

今度は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、下記事務局まで。

ホームページをご覧ください！

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。

新規団体をご紹介いただける方、清掃や花苗・取材などについてのご相談、お問い合わせは…

[東部事務局(門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区)] NPO法人 ふきの会 Tel.(093)511-6700 担当:古海
[西部事務局(若松区、八幡東区、八幡西区)] NPO法人 西日本環境ネットワーク Tel.(093)513-2651 担当:御園

【企画】 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16-43 NPO法人 ふきの会 Tel & Fax : (093)511-6700

【発行】 北九州市 建設局 道路部 道路計画課 Tel:(093)582-3888

令和2年3月発行

No.42 北九州市道路サポーターだより

道路を愛するみなさんを応援!

総会特集号 第15回北九州市道路サポーター総会開催

令和2年2月6日(木)、小倉北区のAIMビル3階G展示場で、第15回北九州市道路サポーター総会が開催され、多くの方にご参加いただきました。

総会は2部構成で、第1部は、北九州市建設局 東局長の挨拶から始まり、来賓の北九州国道事務所 谷川所長、北九州市道路サポーターの会 吉本代表に挨拶をいただいた後、活動10年団体表彰と「道路ふれあい月間」国土交通省表彰が行われました。その後、道路サポーター事務局から令和元年度道路サポーター取り組み状況について報告があり、新規登録団体の紹介、来年度からの幹事と副幹事の紹介が行われました。

第2部は、道路サポーター団体からの活動報告として、活動を始めて10年が経過した3団体から、それぞれの苦労や喜びが伝わる報告がありました。続いて今年は「みちづくし」が私たちのまち、北九州市で開催されることから、谷川所長から九州の道守会議についての紹介がありました。また、みちづくしin北九州2020実行委員会委員長の玉川氏からは、みちづくしin北九州2020開催にあたり、北九州市道路サポーターの活動は九州の道守活動のお手本になるなどの話がありました。

総会後は別会場に移動し、各区に分かれての意見交換会、最後は交流会で団体同士の交流を深めました。



交流会▶



東局長



谷川所長



吉本代表



活動10年表彰



令和元年度 道路サポーター取り組み状況

道路サポーターの会事務局を務める北九州市建設局道路計画課 北島課長より、令和元年度の取り組み状況についての報告がありました。

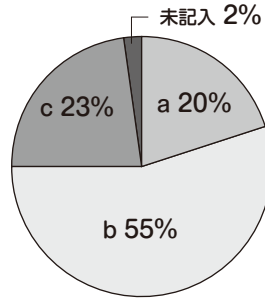
登録団体の状況

北九州市道路サポーターの会の認定団体は、現在233団体約13,000人の皆さんが活動を行っています。(令和2年2月末現在)

区会についてのアンケート調査(配布232団体 回答51団体)

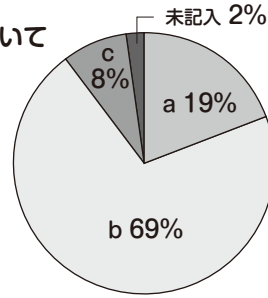
Q1 区会への出席について

- a 積極的に参加したい 20%
- b 積極的に参加したいが務日程等の都合から負担となることもある 55%
- c 出席が負担となっている 23%
- 未記入 2%



Q2 改善要望等の意見聴取方法について

- a 区会を開催した方がよい 19%
- b アンケート形式の方がよい 69%
- c どちらでもよい・どちらとも言えない 8%
- 未記入 2%



【今後の区会開催の方針】

- 総会時の区会1回を基本とする
- 役員改選前は区会を実施する
- 幹事会において、区会で議論すべき案件が出た場合は区会を開催する



北島課長

道路サポーターのPR

ラグビーウェールズ代表の公開練習でのPR

日程: 令和元年9月16日(月)
会場: ミクニワールドスタジアム周辺
建設局の取り組みと道路サポーター制度をPRしました。



エコライフステージ2019でPR

日程: 令和元年11月23日(土)~24日(日)
会場: 北九州市役所周辺広場
道路サポーターパネル展示やクイズラリーを実施し、約1000名の方にPRを行いました。



みちづくしin佐世保2019

日程: 令和元年10月25日(金)~26日(土)
会場: アルカスSASEBO(佐世保市)
九州各地の道路ボランティア団体による意見交換会や交流会が実施されました。



表彰

■都市緑化功労者表彰

日程: 令和元年10月20日
受賞団体: ・みずほふれあい花壇
・新馬借

■活動10年団体表彰

22団体に感謝状が贈られました。

■「道路ふれあい月間」国土交通省表彰

2013年北九州市道路サポーターの会として受賞。14団体に感謝状が贈られました。



活動10年表彰



国土交通省表彰

令和元年度新規登録団体

八幡西区	黒崎播磨株式会社
八幡東区	福岡ひびき信用金庫
八幡西区	塔野まち協花咲ポットクラブ

活動10年団体表彰

平成21年度に登録した22団体が、活動10年の表彰を受賞(認定日順)

小倉南区	沼校区生活安全パトロール隊	八幡西区	まつぼっくりの会
八幡西区	本城学研台3町会花ボランティアの会	戸畑区	(株)ワイズ・コンピュータ・クリエイツ
小倉北区	千歳町自治会	小倉南区	モール大通り街
門司区	北九州ひまわりの里 サテライトあおぞら	小倉北区	高2南クリーン隊
戸畑区	戸畑昭和通り振興会	若松区	ひびき園
小倉北区	株式会社 不動産中央情報センター	小倉南区	四季彩ロードサポーター
八幡西区	丸喜鋼業株式会社	八幡西区	有限会社 本城葬祭
門司区	新門司海浜グラウンド愛護会	門司区	コスモ海洋(株)
小倉南区	空港小倉東ロータリー会	若松区	若松1区自治会
若松区	福岡県立若松高校	若松区	若松1区青々会
小倉北区	北九州小倉病院	八幡西区	花咲く街4丁目穴生

道路ふれあい月間国土交通省表彰

令和元年度「道路ふれあい月間」国土交通省表彰受賞団体(認定日順)
2013年北九州市道路サポーターの会

小倉南区	寿友会	八幡東区	九州電力(株)八幡営業所
八幡東区	株式会社清水建築工業	小倉北区	日本資源流通(株)本社
八幡西区	風薫る街曲里ボランティア清掃の会	小倉北区	日本資源流通(株)北九州営業所
小倉北区	高坊第2鶴寿会	小倉北区	日本資源流通(株)プラスチック事業部
小倉北区	KID's work	小倉北区	北九州モビリティデザイン研究会
小倉北区	新馬借	八幡東区	北九州帆柱ライオンズクラブ
小倉北区	みずほふれあい花壇	八幡東区	NPO法人北九州ウォーキング協会



団体からの活動報告



戸畑昭和通り振興会 戸畑区

戸畑区役所からJR戸畑駅につながるメイン道路の両側に広い歩道があり、幅2mの花壇が並んでいます。70か所ある花壇のうちの65か所が私たちの活動場所です。

約600mの通りの花壇には12,000本の花が植わっています。市から頂く花苗だけでは到底足りないため、約9割は自分たちの畑で種から育て、その苗を花壇に持って行って植えています。ビルの屋上にある畑では常時2,000本くらいの花苗を育てていますし、時にはホームセンターで安い花苗を買うこともあります。

当時、この花壇は市が管理していて、年に2回花を植えた時はきれいなのですが、草取りをしないので、2か月もすると花壇はいつも草ボーボーの状態でした。活動のきっかけは、退職後にその花壇の草取りを始めたこと。しかし、「苦情が出ているので、草をボランティア袋に入れて捨ててください」と市から電話がありました。暫くしてまた市から「草を抜いてしまったのでホコリがすると苦情があったので、なんとかしてください」。それで家の花壇に植えていた菊などを植え、ホームセンターで花苗を買って植えるようになったのです。

花壇を管理して10年。花苗を植えるのは簡単で、活動は草取りが主な仕事になっています。あと5年か10年は続けられるかなと思いますが、参加して下さる方が少ないのでどこまでできるかなという気がしています。



空港小倉東ロータリー会 小倉南区

私たちの団体の母体は小倉東ロータリークラブで、構成メンバーは約100人。年に2回、25~30名で北九州空港の花壇に花を植えています。

小倉東ロータリークラブの50周年記念事業として何かしたいと考えた時、できたばかりの北九州空港に50本の桜を植えようとしたのが活動のきっかけでした。試行錯誤しながら、潮風に強いと言われていた2m以上の大島桜50本を空港沿線に植えたのですが、残念ながら全て枯れてしまいました。後から、桜は小さな苗木から植えて、その土地で慣らして大きくしていかなければならなかったことが分かりました。また沿線に花を植えても範囲が広いので水やりが大変で、頻りに空港に行くことができないため全部枯れてしまいました。

その後、北九州空港のターミナルビルと駐車場の間の歩道にある花壇の管理をさせていただき、現在の活動に移行しました。土砂で埋め立てた海の上の空港ということもあり、夏には背の高い特殊な雑草で植えた花が隠れてしまうほど。専門業者さんに2回土壌改良をしてもらってもダメでした。あとは手とるしかない、今年の夏からはみんなで雑草とりをしようと思っています。

桜から始まり、現在の花壇の花植えになって10年。春には、ターミナルビルに向かって左側に、その時植えた桜の中で唯一残った八重桜が今も咲き続けています。



有限会社 本城葬祭 八幡西区

活動を始めたのは、葬祭業という業種から、地域の方に何か恩返しをしたいと思ったのがきっかけでした。

最初は道路の清掃から、続いて花を植えようとしたら、会社の前の道路沿いに植えられていた下木の撤去費用が20~30万円。1株80円の花苗200株を買っても全く足りず、結局1200株を買って、また9~10万円。その上、アドバイスをくれる人もいないので、ネットで調べ、土壌の改良から年に2回の花植え、水やりまでを約2年間自力でやっていました。花の植え替えの度に約10万円かかり、会社のスタッフだけでの活動にも負担を感じ始めていました。

道路サポーターの存在を知り、登録したのは活動を始めて2年後のこと。しかし、続けているうちに夏場の水やりの大変さを痛感しながら、「やめられない」という義務感で必死に続けていました。

5年目あたりから地域の方に「ありがとう」と言って頂くことが多くなり、そこで意識が変わってきました。最初はビジネスのために、それが義務感に変わり、「ありがとう」と声をかけて頂くことで、感謝の気持ちに変わった。原点にかえて感謝の気持ちを込めてやる。これが原動力であり、活動のぶれない指針になっています。最近、花植えの時に町内会の方々が声をかけあい、手伝ってくれるようになってきました。



区毎意見交換会

門司区

- 区会への参加団体を増やす工夫が必要。せっかく総会に参加した人が、区会に参加しないで帰ってしまっている。
- 門司区以外の団体が世話をしている花壇が見たい。
 - ・門司区道路サポーター活動マップを作って団体に配布する。(門司区以外の団体の活動場所がわかるようなもの)
 - ・区会の後などに、花壇を見てまわるようなことができないか。
- 水道の基本料金の負担について
 - ・5月から10月くらいまで市の負担とし、個人の負担なしで水を使わせてほしい。
 - ・花植えの時は水を使うので、花植え時期も基本料金は市の負担としてほしい。



小倉北区

- メンバーの高齢化と継続することの難しさを感じている。
- 春の花苗配布時期をもっと早くしてほしい。花植えにはタイミングがある。
- ベスト、ジャンパー、タスキなど統一したものがあれば、道路サポーターのPRになる。
- 足立公園の遊歩道にかけている竹箒が盗まれる。何かいいアイデアがないか。



小倉南区

- 活動時に着用するジャンパー、ベストなどユニフォーム的なものがあれば、道路サポーターのPRになる。
- 高齢化によるメンバーの減少、人数が減って活動も縮小気味になっている。
- 花苗について
 - ・希望した日に花苗が届かなかった。
 - ・届いた花苗の状態が悪くヒョロヒョロだった。



八幡東区

- 区会の参加団体が少ない。しかしボランティアなので強制はできない。
- 道路サポーターとして活動したことで、よそのまちのことが目に留まるようになった。これはやっていないと分からないことだと思う。



八幡西区

- 高齢化でメンバーの数が減少している。地域の人や店、周辺企業などを巻き込んで協力してもらう方法はないか。
- 散水栓設置の時にホースも付けてほしい。
- 道路サポーターとして登録するには10人以上となっているが、活動範囲さえ満たしていれば、人数にこだわらなくてもいいのではないかと。もっと柔軟にした方が参加者は増えると思う。



若松区

- 水やりで苦労している。ホースが足りないところは台車に水を積んで水やりをしている。花壇の前の家の人が水やりをしてくれると助かるが、なかなか難しい。
- メンバーの高齢化で困っている。
- 散水栓だけではなく、ホースも配布してほしい。

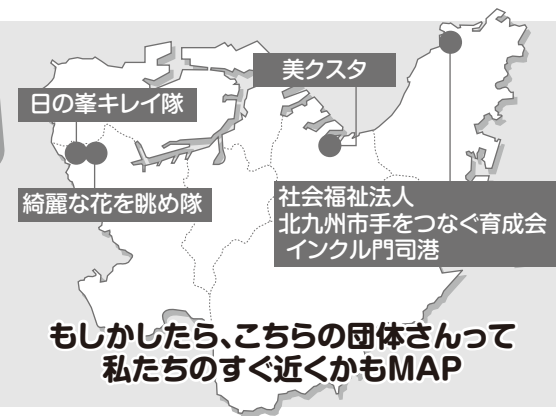


戸畑区

- 高齢化によるメンバーの減少で困っている。
- 総会にはまちづくり整備課の道路サポーター担当者が来ていないので意見のやりとりができない。
- 前に駐車場ができたため、花を植えていた花壇が突然壊された。ボランティアとはいえ、事前に相談くらいあってもいいのではないかと。



団体交流掲示板



もしかしたら、こちらの団体さんって
私たちのすぐ近くかもMAP

～この道では、どんな皆さんが活動しているの?～

身近なところで、いきいきと活動を継続している団体の皆さん。
それぞれのちょっとした工夫やアイデアが、
これからの活動のヒントになるかもしれません。

取材
de
キャッチ

美クスタ

清掃活動で、ギラヴァンツを応援してくださる皆さんにお返しをしたい。

美クスタは、ギラヴァンツ北九州のサポーター「キタキューナース」のメンバーを中心とする団体です。2019年12月1日は、J2への昇格が決まったギラヴァンツ北九州の優勝決定戦が行われる日。J3卒業の大事な試合、ギラヴァンツ北九州を応援するお客様をごみのないきれいな状態でお迎えするために、試合前日の11月30日にスタジアム周辺の清掃活動を行いました。

ギラヴァンツ北九州の黄色いユニフォームを着た参加者たちは、スタジアム周辺の道路に散らばり、ごみを拾い、道路脇の雑草などをとっていきます。この日は風が強く道の両側にたまった大量の落ち葉を集めるのに一苦労でした。目立つ黄色のユニフォームでごみを拾っていると「ありがとう」と声をかけられることも多いのだとか。

「ギラヴァンツのサポーターが頑張りようねと感じてもらい、清掃への参加ももちろんですが、それをきっかけに試合を観に来てもらえたら、本当にうれしいですね」代表の岡さんが爽やかに話してくれました。そんな皆さんの応援もあって、翌日ギラヴァンツ北九州は優勝しました。



取材
de
キャッチ

社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 インクル門司港

「きれいやね」地域の方に声をかけて頂くことが、喜びと自信につながっています。

インクル門司港は、知的障害のある方や身体の不自由な方が通う生活介護事業所です。

平成31年4月に、大里から門司港レトロ地区のある旧門司に事業所を移転したのを機に、清掃活動に加え花壇活動をスタートさせました。花壇は門司メディカルセンター近くにあるのですが水道がないため、普段は水を入れたポリタンク数個を台車に乗せ、事業所から15分ほど歩いて花壇に向かいます。

1月17日の活動は、まず草取りや枯葉取り、周囲の清掃などを済ませた後で、ポリタンクの水をジョウロに移し、水やりで終了。皆さんは楽しそうに、慣れた様子で花壇の世話をしていました。門司港レトロの遊歩道沿いに花壇があるので、「きれいやね」「ありがとう」と声をかけて頂くことも多く、地域の役に立っていることが皆さんの自信につながり、心を豊かにしてくれるのだそうです。また花壇活動とは別に、ごみを拾いながら事業所からノーフォーク広場まで往復する清掃活動も続けています。

「花壇にはいつ行くの?」と利用者さんが心待ちにしている道路サポーター活動。「生活介護事業所としてこの地に根を下ろし、この活動を通して地域や地域の方々ともっとつながっていききたい」所長の下川さんがそう話してくれました。



取材
de
キャッチ

日の峯キレイ隊

人と人の繋がりで、もっと美しさが繋がる地域へ。

「今から12、3年前、住宅地の清掃活動を始め、その後道路サポーター制度を知り清掃活動と合わせて花植えも行うようになったんだよ」と、花苗をお届けした際に話してくださいました。

日の峯は閑静な住宅街で、大きな道路から一筋入ると歩道脇の街路樹下の植樹帯には花が咲き乱れています。

メンバーは、町内2組・3組の方20名ほどで、活動距離は約300mです。突き当りの公園へ続く緑道の一部にも花苗が植えられていました。

道路サポーターの花苗配布日に合わせて隊長が「ボランティア作業お誘い」のお手紙を町内2組・3組全ての方に配られるそうです。

大きな活動は年3回。通常花苗の植わっている前に住んでいる方が自主的に灌水を行っているそうです。

また、5～6名の方は毎日歩道の清掃や草抜きされているそうです。確かに周辺にはゴミもなく、大きな草も生えてなくスッキリしていました。

長い間活動を続けてきたので、周辺の住民の方からもご理解を頂き、活動に参加される方も増えたそうです。活動の中でも「水」には苦労をされています。住宅街なので散水栓の設置も難しく、ホースを引くには距離が長くて…。今でも解決の出来ない問題がある中、皆さんで協力をしながら花を育てて下さっています。2時間ほどの作業でしたが、笑いながら、お話をしながら和やかに行われていました。

隊長さんから「もう一つ悩みがあるそうです。」

住宅地の街路樹は「クロガネモチ」で、常緑の葉の美しい樹木なのですが、春の新芽の時期になると葉の入れ替わりで大量の葉が落ちます。この落ち葉清掃がとても大変なのだそうです。

それでも毎日皆さんで清掃して片付けてしまうのだそうです。

ボランティア作業はとても大変です。美しいまちづくりをするには、苦労なしには出来ないことを実感しました。また、力強いリーダーシップがあってこそでしょう。

隊長さんの「人と人の繋がりで地域のまちづくりをしていきたい」という思いが詰まった住宅街です。



取材
de
キャッチ

綺麗な花を眺め隊

道路サポーター団体同士が連携を取りながら美しい街並みづくり。

活動は平成23年の後半から始められたそうです。大通りから一筋入った町内会の有志で道路サポーターの活動が行われています。活動のきっかけは、「日の峯キレイ隊」の隊長さんからの声かけによるものだったそうです。

活動範囲は住宅街の、大きな道路の交差点から縦筋街路樹の下の300mほどで清掃、花植えをしています。現在、参加者は20名ほど。

大きな作業は年3回届く花苗に合わせて、隊長が事前に「花壇植替えのご案内」を第4町内会の方に配布しているそうです。

それ以外の水やりや草抜き、周囲の清掃は地域の方が自主的に活動してくださっているそうです。

特に「水」に関しては住宅街なので、各ご家庭にも協力は頂いているようですが、それ以外は隊長さんが自宅のポリ容器に水を入れ、台車で運んで水やりをされているそうです。ホースを引っ張ることもあるとのことでした。

清掃に関しては、支援用具とご自身の所有の用具を使って作業されているそうです。また、用具は隊長さんの駐車場内に置いており使用は自由だそうです。

今年度は、大通りの信号機取替え工事があり、交差点は1か所にしか花が植えられず残念だったそうです。今年は花で埋めたいと言われていました。

活動は、「歩道が綺麗な姿なので、自然と何もなくても皆さんがやってくれる」と笑いながら話してくださいましたが、その陰には隊長さんの努力と苦労があったと思います。

住宅地内の縦筋の街路と横筋の街路は、2つの道路サポーター団体さんが連携を取りながら美しい街並みづくりをされています。どちらの隊長さんにも強いリーダーシップと「こうしたい」という理念があるからこそ、周囲の方も前向きに自主的な活動をされているのだと感じました。

